



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <https://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	55,545	13.7	3,538	19.6	2,747	57.2	1,646	58.8
2023年3月期第2四半期	64,341	14.5	4,400	24.3	6,412	19.1	3,991	21.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,054百万円 (54.0%) 2023年3月期第2四半期 4,462百万円 (20.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	198.34	
2023年3月期第2四半期	484.02	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	81,182	51,009	55.5	5,409.71
2023年3月期	75,455	49,147	57.5	5,240.76

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 45,071百万円 2023年3月期 43,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		30.00		40.00	70.00
2024年3月期		35.00			
2024年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.1	6,300	23.9	6,600	23.7	4,100	22.9	495.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	8,867,000 株	2023年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	535,417 株	2023年3月期	588,259 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	8,301,603 株	2023年3月期2Q	8,247,421 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、物価が上昇したため、諸外国で政策金利が引き締められました。また、ウクライナ戦争が長期化し、エネルギー価格が高騰しました。

わが国経済は、内外金利差により円安が進行しました。また、原発の再稼働が遅れ、電力料金が高騰しました。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行したため、3年余り続いた国のコロナ対策は解除され、経済活動は徐々に正常化しました。

このような経営環境の下、当社グループ（当社及び連結子会社）では、伸銅品の需要が低迷したため、完全子会社のサンエツ金属株式会社は、臨時休業日を設けて生産調整しました。また、連結子会社のシーケー金属株式会社は、全天候型製品倉庫を建設して物流機能を強化しました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、伸銅事業の販売量が減少したため、売上高は555億45百万円（前年同期比13.7%減少）となり、営業利益は35億38百万円（同19.6%減少）となりました。営業外損益として、デリバティブ利益が55百万円、デリバティブ評価益が3百万円、デリバティブ損失が2億19百万円、デリバティブ評価損が8億12百万円発生したため、経常利益は27億47百万円（同57.2%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億46百万円（同58.8%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### 伸銅

伸銅事業では、販売量は4万5,647トン（前年同期比16.7%減少）、売上高は467億57百万円（同16.5%減少）となり、セグメント損益は22億6百万円のセグメント利益（同33.9%減少）となりました。

#### 精密部品

精密部品事業では、売上高は27億28百万円（前年同期比11.3%減少）となり、セグメント損益は1億73百万円のセグメント利益（同47.0%減少）となりました。

#### 配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は60億58百万円（前年同期比14.9%増加）となり、セグメント損益は9億73百万円のセグメント利益（同64.8%増加）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は593億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億49百万円増加しました。これは主に、電子記録債権が57億5百万円増加したことによるものであります。固定資産は218億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億78百万円増加しました。この結果、資産合計は811億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億27百万円増加しました。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は267億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億37百万円増加しました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は34億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円減少しました。この結果、負債合計は301億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億65百万円増加しました。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は510億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億62百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が16億46百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は55.5%（前連結会計年度末は57.5%）となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,030	770
受取手形、売掛金及び契約資産	18,331	16,925
電子記録債権	8,245	13,950
商品及び製品	7,482	7,297
仕掛品	9,637	9,206
原材料及び貯蔵品	8,694	10,123
その他	1,184	1,183
貸倒引当金	△82	△85
流動資産合計	54,523	59,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,706	15,012
減価償却累計額	△6,640	△6,883
建物及び構築物 (純額)	7,066	8,129
機械装置及び運搬具	26,104	26,483
減価償却累計額	△23,120	△23,559
機械装置及び運搬具 (純額)	2,983	2,923
土地	7,020	7,043
建設仮勘定	530	308
その他	2,632	2,786
減価償却累計額	△2,254	△2,343
その他 (純額)	377	443
有形固定資産合計	17,978	18,847
無形固定資産		
のれん	74	33
ソフトウェア	336	290
その他	11	11
無形固定資産合計	422	335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,343	1,479
退職給付に係る資産	9	9
繰延税金資産	1,113	1,083
その他	65	55
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,530	2,627
固定資産合計	20,931	21,810
資産合計	75,455	81,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,337	8,446
短期借入金	7,890	12,060
未払金	105	248
未払費用	825	936
未払法人税等	1,942	953
賞与引当金	1,231	1,247
設備関係支払手形	568	1,335
その他	900	1,509
流動負債合計	22,801	26,738
固定負債		
繰延税金負債	330	338
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,709	1,770
長期借入金	776	609
その他	408	435
固定負債合計	3,506	3,434
負債合計	26,307	30,172
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,710	4,728
利益剰余金	36,863	38,157
自己株式	△1,498	△1,309
株主資本合計	42,833	44,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19	138
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	7	34
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	553	737
非支配株主持分	5,760	5,938
純資産合計	49,147	51,009
負債純資産合計	75,455	81,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	64,341	55,545
売上原価	57,446	49,489
売上総利益	6,894	6,055
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	660	576
給料及び手当	585	623
退職給付費用	17	15
貸倒引当金繰入額	3	2
その他	1,227	1,298
販売費及び一般管理費合計	2,494	2,517
営業利益	4,400	3,538
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	23	26
デリバティブ利益	772	55
デリバティブ評価益	1,234	3
業務受託料	24	24
雇用調整助成金	—	3
その他	187	160
営業外収益合計	2,244	275
営業外費用		
支払利息	12	6
デリバティブ損失	0	219
デリバティブ評価損	202	812
クレーム補償費	3	21
その他	13	8
営業外費用合計	232	1,066
経常利益	6,412	2,747
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
補助金収入	6	10
特別利益合計	6	10
特別損失		
固定資産除却損	1	8
投資有価証券評価損	—	5
特別損失合計	1	14
税金等調整前四半期純利益	6,417	2,743
法人税等	2,005	881
四半期純利益	4,412	1,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	420	215
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,991	1,646

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,412	1,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	165
為替換算調整勘定	41	26
退職給付に係る調整額	11	△0
その他の包括利益合計	49	192
四半期包括利益	4,462	2,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,038	1,830
非支配株主に係る四半期包括利益	423	223

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,417	2,743
減価償却費	1,038	938
のれん償却額	46	40
有形固定資産除却損	1	8
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△0
為替差損益 (△は益)	△75	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62	15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	71	60
受取利息及び受取配当金	△25	△28
支払利息	12	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,150	△4,249
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,691	△797
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△170	△91
仕入債務の増減額 (△は減少)	△103	△934
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△424	△113
デリバティブ評価損益 (△は益)	△1,031	808
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△709	191
その他	△680	68
小計	△5,407	△1,338
利息及び配当金の受取額	25	28
利息の支払額	△12	△5
法人税等の支払額	△1,159	△1,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,553	△3,139
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,655	△968
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△45	△3
投資有価証券の取得による支出	△25	△5
投資有価証券の売却による収入	11	37
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△92	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,806	△926

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,220	4,170
長期借入金の返済による支出	—	△167
自己株式の処分による収入	—	179
自己株式の取得による支出	△174	—
子会社の自己株式の取得による支出	△82	△22
配当金の支払額	△345	△352
非支配株主への配当金の支払額	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,611	3,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	260	△259
現金及び現金同等物の期首残高	679	1,030
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	196	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,136	770

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	55,989	3,075	5,275	64,339
その他の収益	1	—	—	1
外部顧客への売上高	55,990	3,075	5,275	64,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,739	40	4	3,784
計	59,729	3,115	5,280	68,125
セグメント利益	3,339	327	590	4,257

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,257
セグメント間取引消去	408
全社費用	△265
四半期連結損益計算書の営業利益	4,400

## II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	46,757	2,728	6,058	55,545
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	46,757	2,728	6,058	55,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,933	49	0	2,983
計	49,691	2,777	6,059	58,528
セグメント利益	2,206	173	973	3,353

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,353
セグメント間取引消去	461
全社費用	△277
四半期連結損益計算書の営業利益	3,538

（重要な後発事象）

該当事項はありません。